

* * イ カ ナ ゴ 情 報 No. 2 * *

— 島牧沖における初漁の漁獲物を測定 —

中央水産試験場
後志地区水産技術普及指導所岩内支所

適正サイズ到達は5月下旬か

調査の概要

2014年5月14～15日に島牧海域においてコウナゴの初漁があり、その漁獲物から採集していただいた標本を測定しましたので、その結果をお知らせします。調査にご協力いただいた関係者の皆さま、ありがとうございました。

初漁は大幅に遅れ、主群もまだ小さい

今年のコウナゴの初漁は、例年より遅れた昨年（5月5日）よりもさらに10日遅れました。下図は初漁の漁獲物の体長組成です。主群の体長は15mm前後になっていました。初漁の主群が漁獲適正サイズ（22～23mm）に成長する時期は、1日の推定成長量を0.7mm程度とすると、およそ10日後（5月25日頃）になります。したがって、本格的な漁期開始時期は5月下旬と予想されます。

ただし、水温がすでに高くなっているため、この後のコウナゴの成長が例年より速くなり、予想より早く適正サイズに達する可能性もあります。

なお、前報でお知らせした4月21日の漁期前調査で採集された大きさのコウナゴは、すでに30mmを超えていると予想されます。したがって、漁期前調査は漁期初めの主群を対象にしていなかったと考えられます。初漁期が大幅に遅れた例年がない年であるため、今後もコウナゴの漁獲状況や成長を注意して見ていきたいと思えます。引き続きご協力をお願いします。

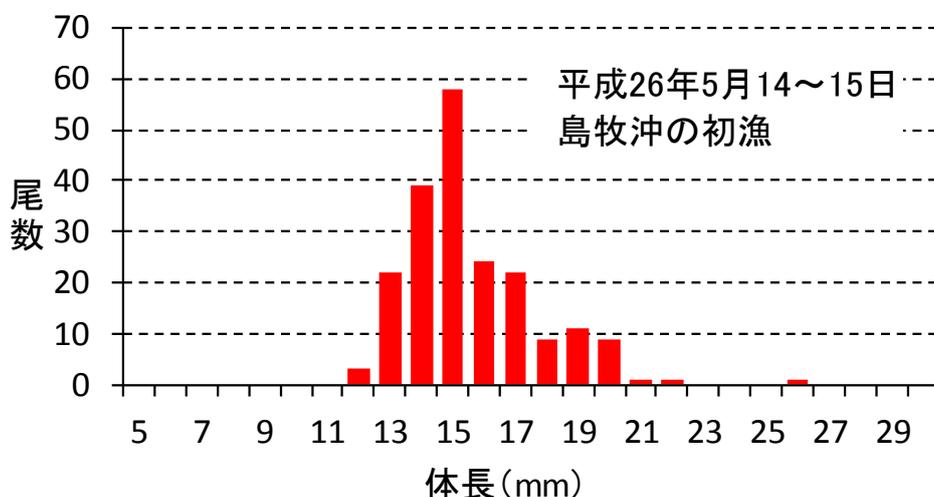


図 島牧沖における初漁のイカナゴの体長組成